



TSUBASA金融システム高度化アライアンス加盟行による 「TSUBASA FinTech共通基盤」の開発着手について

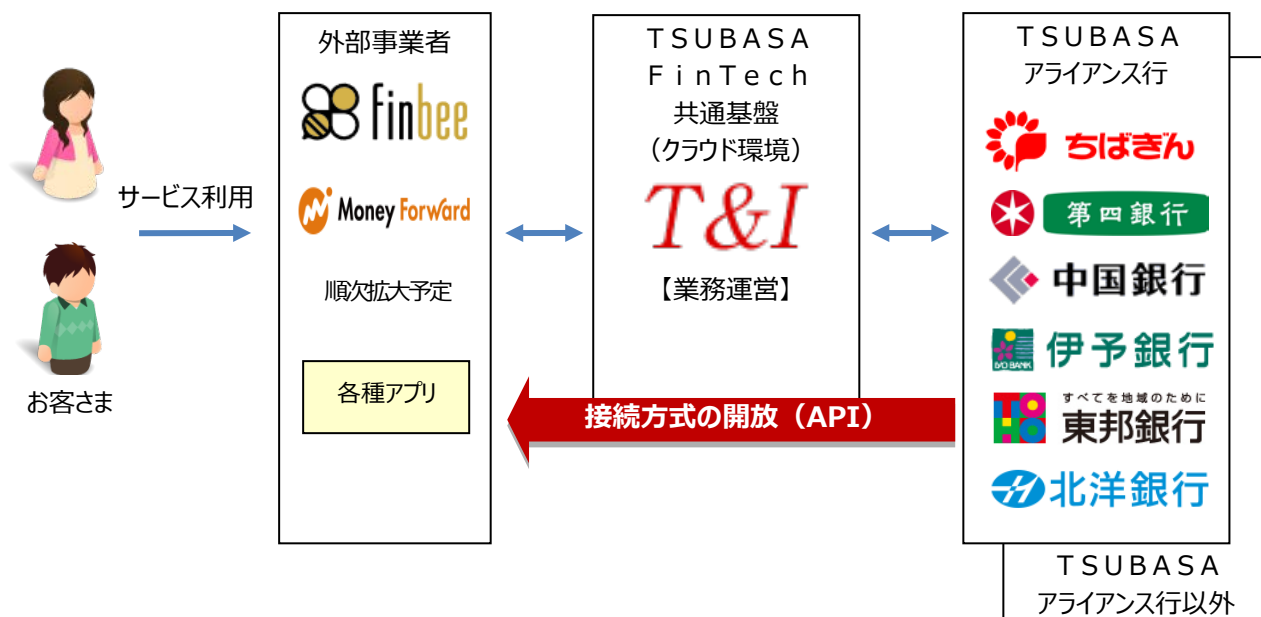
千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」^{※1} 加盟行及びT&Iイノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄）、日本アイ・ビー・エム株式会社（取締役社長 エリー・キーナン）と共同で進めているAPI共通基盤構築プロジェクトにおいて、2017年10月2日（月）より、「TSUBASA FinTech共通基盤」の開発に着手いたしましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、オープンAPI^{※2}を活用した先進的な金融サービスの提供に向け、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できる共通基盤の構築を目的として、今年5月に始動しました。

今回開発する「TSUBASA FinTech共通基盤」は、安全性を確保した認証方法により、インターネットバンキング契約のないお客さまについても各種のAPIとデータ連携することができるため、より多くのお客さまに安心してさまざまなフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

第一弾として、2018年春には、株式会社ネストエッグ（代表取締役社長 田村 栄仁）の自動貯金サービス「finbee（フィンビー）」および株式会社マネーフォワード（代表取締役社長CEO 辻 庸介）の自動家計簿サービス「Money Forward（マネーフォワード）」の提供を予定しております。

<「TSUBASA FinTech共通基盤」を活用したサービス提供のイメージ図>



- ※1 フィンテックをはじめ先進的な I T 技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の 6 行が加盟しています。
- ※2 A P I とは、Application Programming Interface の略。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープン A P I」と言います。

以 上

<自動貯金サービス「finbee（フィンビー）」>

finbeeは、株式会社ネストエッグが運営する自動貯金サービスで、「自動車」「旅行」等の貯蓄目的や目標金額等を設定し、おつりや歩数に応じて貯蓄をするなどライフスタイルに合わせて楽しみながら貯蓄ができる。

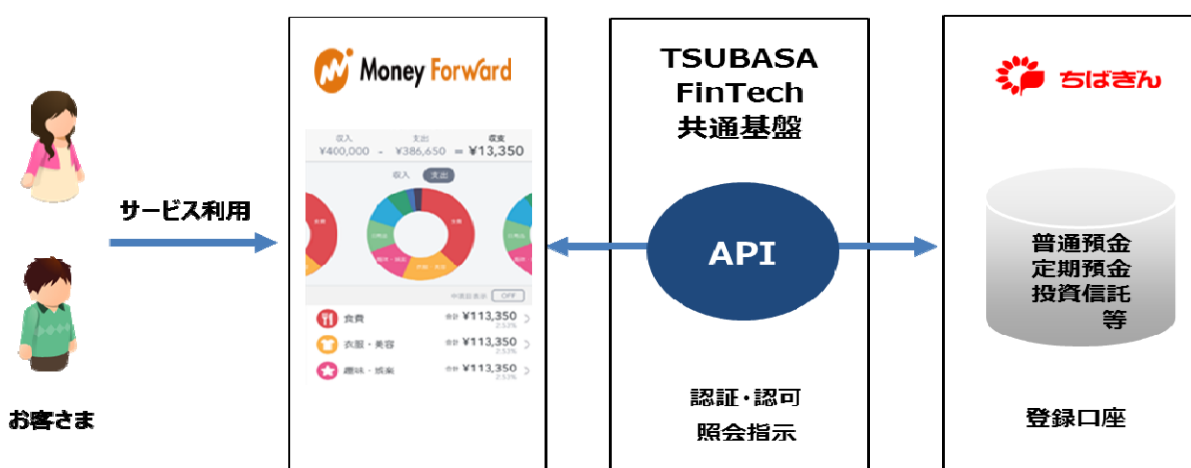


【株式会社ネストエッグ概要】

企業名	株式会社ネストエッグ
所在地	東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル11階
代表者	代表取締役社長 田村 栄仁
事業内容	貯金・決済サービスの企画・開発・運営

<自動家計簿サービス「Money Forward（マネーフォワード）」>

マネーフォワードは、株式会社マネーフォワードが運営する自動家計簿サービスで、口座の入出金やクレジットカード履歴をもとに、食費や光熱費などのカテゴリに自動で分類し家計簿を作成することができる。



【株式会社マネーフォワード概要】

企業名	株式会社マネーフォワード
所在地	東京都港区芝5-33-1 森永プラザビル本館17階
代表者	代表取締役社長CEO 辻 庸介
事業内容	インターネットサービス開発